

しろやま



病院理念

城山病院は患者さまのために存在します

2025年11月号

医療法人春秋会 城山病院

大阪府羽曳野市はびきの2-8-1

TEL 072-958-1000

編集・発行 情報システム課

Vol. 101



SPECIAL

今年も災害訓練を実施しました



クオリティマネジメントセンター
センター長 山田 裕子 看護師

城山病院は9月27日に災害(火災)訓練を行いました。「南海トラフ大地震が発生し、院内停電、火災発生」というシナリオで、大阪南消防局、藤井寺保健所、羽曳野市役所、羽曳野市医師会、災害協力病院などが参加する大規模な訓練でした。この訓練を企画した山田さんに話を聞きました。

迫真のシナリオ

当院では消防法に基づき毎年、火災・災害時の訓練を実施しています。当院は2018年に羽曳野市災害医療センターに指定されており、災害発生時には迅速な初動対応とともに、自治体や医師会、災害協力病院との円滑な連携が求められており、これらを目的として、今年度も総合的な災害対応訓練を実施しました。今回は3年に一度行われる「法定停電」に合わせて実施し、実際に停電した状態での訓練となり、シナリオは次の通りです。

午後1時10分、南海トラフを震源とするマグニチュード7.3の地震が発生。羽曳野市では震度6弱を観測し、多数の負傷者が発生。院内でも転倒による負傷者が数名発生し、同時に7階病棟で火災が発生。看護師による初期消火および患者避難を実施し、搬送が必要な患者は階段からシート搬送を行う。

午後2時には停電が発生し、非常用発電機が作動せず全館停電状態となり、約30分後に一部復旧したものの、開放骨折の緊急手術患者は対応困難となり、転送先を調整する。

玄関前には多数の負傷者が押し寄せ、災害対策本部を立ち上げ、トリアージブースを設置して対応を行う。入院が必要な患者は近隣病院へ転送。

また、EMIS(広域災害救急情報システム)が入力不能となったため、代替として「LICはびきの」に職員を派遣し、無線通信を用いて保健所と連絡を取る。

参加者は約200人

参加機関・協力団体は、大阪南消防局、藤井寺保健所、羽曳野市役所、羽曳野市医師会・歯科医師会・薬剤師会、災害協力病院(天仁病院、運動器ケアしまだ病院、高村病院、しらとり病院、丹比荘病院)

また、傷病者役として美原看護専門学校の学生28名が参加し、外傷などを再現した特殊メイク(ムラージュ)を施して協力いただきました。

患者搬送訓練では協力病院の救急車を使用し、実際の搬送を行いました。羽曳野市役所と藤井寺保健所は当院内に本部を設置し、情報共有・連携体制の確認を実施。

さらに大阪南消防局による倒壊建物からの負傷者救出訓練も行われ、実践的な内容になりました。

訓練で気づいたこと

実際の停電下での訓練は初の試みでした。電子カルテや医療機器の使用不能は想定内でしたが、外線電話やネットワークの停止など通信面での脆弱性が判明し、非常時通信システムの再構築が必要であることが分かりました。

また、トリアージ記録の不備や、傷病者が多数押し寄せた際の動線・対応体制にも課題が見つかりました。

今後の取り組み

日頃より、窓のない部屋の入口へのランタン設置や、各部署へのランタン・ヘッドライトの配備・点検を行い、災害時に備えています。日常的な備えと今回の訓練を通じて、職員一人ひとりが防災意識を高めることが重要です。

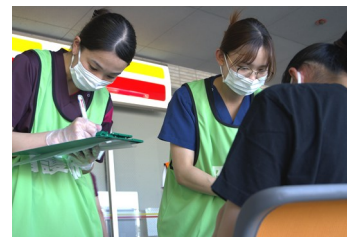
また、地域の医療機関や関係機関との連携強化も欠かせません。日常的に自治体や医師会、災害協力病院と情報共有・会議を行っており、今回も多大なご協力をいただきました。

今後も課題を共有し、より実効性の高い災害対策を構築していきたいと思えます。さらに、地域住民の皆さまにも訓練への参加を呼びかけ、自治体・医療機関・市民が一体となった防災体制の構築を目指します。

2025年9月27日 災害(火災)訓練を行いました

おもて面にも書かれている通り2025年9月27日に、災害(火災)訓練を行いました。
今回の災害訓練シナリオは、午後1時10分、南海トラフを震源とするマグニチュード7.3の地震と火災・停電を合わせた内容となりました。近隣の医療機関や市役所・保健所などが参加して下さいました。近隣の医療機関や市役所・保健所などが参加して下さいました。近隣の医療機関や市役所・保健所などが参加して下さいました。

様々な課題もある訓練となりましたが、羽曳野市災害医療センターとして日頃からの対策を行っています。



がん教育活動を藤井寺支援学校で行いました

当院では大阪府がん診療拠点病院の活動の一つとして、地域の学生を対象に、健康と命の大切さについて学び、がんに対する正しい知識とがん患者に対する正しい認識をもつよう教育することを目指した「がん教育」を行っています。

今年は昨年より引き続き、大阪府立藤井寺支援学校の中学部3年生を対象に、動画を用いて「がんはなぜできるの」「がんは治るの」「できる予防対策」などについて一緒に学習をしました。人の身体をみて、どこにがんができるのか考えたり、感染予防対策が必要の話では、手洗いの方法を行いました。

また、早期発見が大事なことを知り、大切な家族にも伝えてもらうこととお話しました。

教員の先生からも身近な質問をたくさん頂き、「がんの病気」について楽しく学ぶことができました。

引き続き、今後も活動していきたいと思っております。



内視鏡画像診断支援システム導入のお知らせ

内視鏡画像診断支援システム(CAD EYE)が当院で導入されました。

内視鏡検査において病変の検出と鑑別をAIがサポートするシステムとなります。

医師の診断を支え、がんの早期発見に繋がります。



胃や食道、大腸の内視鏡検査を、AIがサポートする。がんが疑われる部分を、AIが画像解析して検出。医師の診断を支え、がんの早期発見をめざして。

城山病院からのお知らせ

城山病院 がんサロン「白鳥の会」開催のお知らせ 「もしもの時のお話 ～もしバナゲームをしませんか～」

日程:2025年11月25日(火) 14:30~15:30

会場:城山病院 10階 エレベーター左側フロア

司会進行:緩和ケア特定認定看護師 松本静香

今回はピア・サポーターさんも参加します。

体験談やこれからのお話、ここだけの話を一緒にしましょう!!

第12回 羽曳野市医師会 市民公開講座

日程:2025年11月15日(土)14:00~15:30(要申込)

会場:LICはびきの 3階音楽実習室(羽曳野市はびきの1-1-1)

お問い合わせ:<http://www.habikino-med.or.jp>

羽曳野医師会主催「市民公開講座」に城山病院より梶本先生、島野先生、後藤さんが講演されます。

認知症や脳トレについての講演内容になりますので、ご興味のある方は是非ご参加ください。

しろやまハイブリット研修会のご案内

医療従事者向け

初心にかえて学ぶ ABI/TBI 検査

日程:2025年11月6日(木) 17:30~18:15

講師:臨床検査技師 三枝 康治

会場:オンライン(ZOOM)

ミーティングID:860 8777 1662

パスコード:158029

ZOOM参加
QRコード



認知症の方への入院中の対応

日程:2025年11月27日(火) 17:30~18:15

講師:認知症看護認定看護師 山崎 史子

会場:オンライン(ZOOM)

ミーティングID:896 8314 5413

パスコード:821806

ZOOM参加
QRコード

